

---

# ナチュラル・キラー

ゆきな

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ナチュラル・キラー

### 【Nコード】

N2710Y

### 【作者名】

ゆきな

### 【あらすじ】

お馬鹿な女の子の暴走ストーリー（話がまとまってません。基本的に「」が沢山出てくる会話中心になると思います）

## はじめに

ちよつとお馬鹿な女の子と突っ込み属性の弱い小人

突っ込み属性が強いお馬鹿な女の子の幼なじみの男の子と、おちゃらけチャラ男のウサギと、美少女狼と、狼男（女装家）鬼畜妖精に、何故か養殖されている妖精、頭のネジがガチガチに飛んでしまったロボットが繰り広げる

魔法とホラー？、コメディ、ドラマ？シリアス？サイエンス、フィクションもどき？を詰め込んだはちゃめちゃんなバカな話

基本的に内容が詰まっていない残念な物語

息抜き、暇つぶしの為話の辻褄が合わないと思いますが生ぬるい目でみてください

女は辛いよこんちくしょ

私の名前はスノー歳は今年18歳のピチピチ肌にもあと数年で陰りを見せるカウントダウンが始まったお年頃  
趣味は基本的には無いけどたまに巻き起こる破壊衝動がたまに傷てへっゆるしてえね

そんな私は村から少し外れた森の一軒家に住んでる  
両親は早くから……

ごめんなさい目頭が熱くつグズグズーゾーがつぺっ「畜生！黄色い痰やないか風邪か風邪なんか  
なんやこれ鼻（自主規制）やないか最悪やなくそ」ぺっ

……  
ごめんなさいね、お待たせして  
ああそうそう私の両親ね、私の両親は  
「す、スノー……」

お前花粉症なら杉の木と杉の気を家に入れるなど言っているだろ！  
なんだ何で毎回顔に汚い物をかおに、グオ

ぽーんと気の抜ける音をたてながら口にリンゴが入った（正しく

はねじ込まれた）少年はスノーの幼なじみのミル  
名前が女らしいのは突っ込み所出はないのだけ伝えておこう

「五月蠅いなミルちゃん

私今自己紹介してるんじゃんジャンジャンに銀○のってる  
けど最近見てないなあお金無いからね買えないんだーミルちゃん金  
だせよ」

「くっつハツ！はあはあ…お前は口が悪いし金ならテメエのが持  
ってるだろ！てかこの世界にジャンプも銀○もねえよ、個々にある  
のはオールマイティーだ」

「またまたくんなわけないじゃい  
だってこのソファーなんか18世紀の伯爵に伝わるソッフアアア」

ミルから食らった首の横 chop

見事に入っではいけないで有ろうツボに入った  
間違いない視界が一瞬真っ暗だ

「おのれ、生きとしいきる我が家のノミ！ミルをしばきなさい」

そうスノーには特殊能力がありもはやチートなのである

「馬鹿にすんじゃねえ！」パリンツとツルツルな結界を張ったのは  
ミル

もはや彼もチートで有るが若干の差でスノーが強い  
彼がひたすら修行した所でスノーには若干勝てないのである  
何故ならコイツはそうゆう星に生まれ

作者が決めたレールからものがこうが脱線出来ない絶対レール人生であるからでる

がっ作者も会話の暴走は止められない

なぜなら

作者は今眠いからだ

さてスノーたちを見よう

「やるじゃないか」

「だが私の勝ちだワトソン」

「な…に…ホームズ」

ガシャンと想像より控えめな音と共にワト、ミル君はノミにおそわれた

「おのれホームズ」

「なんだいモリアーティきょーづ」

「田舎口調をやめろ！っ」

少年は最早怒りが頂点で何を伝えに来たのか完成に忘れている

仕方あるまい作者が一肌脱いでやる！

「まあいいとして

何しに来たんだてかねorz、ってうん〇してるみたいに見えるかい？」

冷たい目をしながら今は疲れているので無視をし

ようやく本来の義務に気付く

「そうだ！お前！信<sup>まこと</sup>に乗せて自己紹介するの止める

うるせーし、お前の両親生きてるだろ面倒くせ」「まてモリアーティ  
此処で両親が私を置いてあふたーぬんーぬんーティーを優雅に飲み  
ながら新婚旅行10年目の奴らを前に私は村の人に何という！！

仕方ないから信（ちなみに魔力を乗せた言葉で信じる物に伝えると  
言うなんか良く分からない魔法）でばらして」

「それならストレートにやれ！」

こうして少年ミルは今日もハラハラ髪が落ちるのである

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2710y/>

---

ナチュラル・キラー

2011年11月13日21時34分発行